

専科動法講座「書法考」開催のお知らせ

このたび、京都・御室稽古場にて専科動法講座を開催する運びとなりました。題目は「書法考」。当講座は文字／言葉を「書くこと」についての稽古——身の理を通じて現れる新たな書法の開拓を試みる場として、定期的に開催していく予定です。複数の稽古種目を取り上げながら、それぞれに応じた書法の創造を試みます。

「書くこと」のうち、まずは筆、墨、和紙を用いた書法の追究として、最初に取り上げる稽古種目は「巻紙」（長い和紙を横長に継ぎ合わせて巻物状にしたもの）。片方の手で巻紙を、もう片方の手で筆を持ってきた文化の型／書法と言えるでしょう。動法的観点からこれを語るならば、紙を、机や床あるいは毛氈の上に置かず、手で持った紙に書いていくことで、紙と文字が「ふれる」／「ふれられる」の間に立ち上がってくるような感覚が掴みやすく、また文鎮や床といった固定的存在がなくなることは不定位性の強調にも繋がってくるように思います。あるいは、墨が「染み込んでいく」、筆が「走る／歩む」という二つの異なる動きが、一つの接触経験として統合されていくことを、より肌で感じ取りやすいのではないか。そのような観点から、書法考の最初の種目として巻紙を取り上げた次第です。

当講座は、新たな書法を共に研究する場です。教える／教えられるという関係から、共に考えていき、共に創り上げていく一つの「座」が形成されていくことを願っています。

第一回開催概要

日時：二〇二六年七月二五日（土） 一〇時～一三時

会場：御室稽古場（京都市右京区宇多野福王子町五〇―二八）

担当：野口順哉（技術研究員）／ 金野雅美（動法教授者）

会費：三〇〇〇円

条件：晴風学舎の会員であればどなたでもご参加いただけます

種目：巻紙

道具：筆ペン（お持ちの方は筆・硯・墨・半紙も併せてご持参ください）

※稽古前半ではあえて全員筆ペンを扱います。また、後半に扱う筆・硯・墨は実習によっては二人一組で共用していただく可能性がありますのでご了承ください。なお、お持ちでない方には貸出します。

予約：〈メール〉 noguchijunya@gmail.com

〈電話〉 〇九〇―七四〇〇―六二三九

